

**第 10 回太平洋・島サミット (PALM10)
サイドイベント概要**



**太平洋島嶼国 (PIC) における官民連携 (PPP) の推進を通じた
太平洋の絆の強化**

日時：2024 年 7 月 17 日 (水) 13:00-18:00

会場：ザ・プリンスパークタワー東京

I. 背景と理由

近年、太平洋諸島におけるインフラ開発は大幅に増加しているものの、安全で強靱な水供給と衛生設備へのアクセスには課題が残っています。2022 年には、基本的な飲料水を利用できるのは 55%の人々のみで、衛生設備を利用できるのは 30%に過ぎません。¹

水の安全保障向上に向けた積極的な取り組みにもかかわらず、人口増加、災害による後退、気候変動の影響の加速により、この地域の水安全保障の課題は悪化しています。たとえば、アジア太平洋地域の水質は著しく悪化しています。1990 年から 2010 年までの 20 年間で、主要河川の汚染は 50 パーセント増加し、塩分濃度は 3 分の 1 以上上昇し、廃水の約 80 パーセントが処理されずに水域に排出されています。²

¹ アジア開発銀行：アジア太平洋地域の水の安全保障と回復力の課題への対応:
<https://www.adb.org/news/features/meeting-challenge-water-security-resilience-asia-pacific>

² アジア開発銀行：アジア太平洋地域の水の安全保障と回復力の課題への対応:
<https://www.adb.org/news/features/meeting-challenge-water-security-resilience-asia-pacific>

これらの課題に対処するため、持続可能な経済成長、強靱なインフラ開発、社会進歩の触媒としての官民パートナーシップ（PPP）の重要性がますます認識されつつあります。このサイドイベントは、日本と太平洋島嶼国間の対話、文化交流、協力を促進する機会を提供します。

II. 目的

- 財務的実行可能性: コスト効率、リスク共有、革新的な資金調達モデルなど、水道・廃水処理分野における PPP の財務的メリット、および十分かつ適切な資金調達の課題を探ります。
- 環境の持続可能性: PPP が環境に配慮した水管理の実践、持続可能な技術ソリューション、持続可能な PPP の促進における政府の役割にどのように貢献できるかを議論します。
- 能力構築: 持続可能な PPP の実施に関する地域の専門知識を強化するため、知識の交換と能力構築を促進し、政府間および政府と企業のパートナーシップを確立します。

III. プログラムの構成

第一部：国際会議（13:00～17:00）

オープニングセッション:

岸田首相ビデオメッセージ（調整中）、太平洋島嶼国における PPP の背景について、駐日フランス大使館と国土交通省による歓迎の挨拶。PPP 推進支援機構によるスピーチ。

プレゼンテーション／ディスカッション:

1. 専門家や実務家と、財務的実行可能性、環境の持続可能性、能力開発のサブトピックにおけるさまざまなトピックについて洞察を共有する詳細な議論。
2. PIC における PPP の実施から得られた重要なポイント、ベストプラクティス、教訓を共有する。
3. 革新的な水と廃水ソリューションを通じてレジリエンスを構築するという多部門の取り組みを強化するための政策対話。

まとめ:

質疑応答

PWWA と OPPS による閉会の挨拶

写真撮影

第二部：MoU 調印式（17:15～18:00）

IV. 組織

主催:

一般社団法人 PPP 推進支援機構 (OPPS)

共催:

太平洋上下水道協会 (PWWA)

在日本フランス大使館

後援:

国土交通省 (MLIT)

以上